

(別紙1)

尼崎市支え合いを育む人づくり支援事業 教育・研究活動事業実績報告書

教育・研究活動名	絵本を通して防災理解を広めるプロジェクト		
申請大学・高校等名	大学及び 高校等名	関西国際大学	
	活動 グループ名	児童文化研究会	参加学生 等人数 18人
指導責任者名 及び連絡先	学部・学科等 名称	教育学部教育福祉学科	
	責任者氏名	椋田 善之	連絡先 電話番号
	E-mail		
協働する市民活動団 体及び代表者名	団体名	紙芝居サークルどんぐりの会	
	代表者氏名	中嶋 裕子	連絡先 電話番号
	E-mail		
協働する市民活動団 体及び代表者名	団体名	読み聞かせグループ ハートフリー	
	代表者氏名	今福様	
	E-mail		
教育・研究活動 目標	<p>保育士・幼稚園教諭・小学校教諭等を目指す者として、地震などの災害が起こった際、子どもの命を守り抜くことを今一度、検討していく必要がある。日頃から子どもに向けての絵本などを通して防災の知識を伝えていくことによって、いざという時に動けるようになり、保護者も安心して保育所・幼稚園・小学校に子どもを預けることができる要因の一つになる。保育所のみでなく、地域(大学近隣)の子どもたちに向けて防災に関する絵本を読み聞かせることによって、子どもはもちろん、保護者の防災に対する備えや認識も高めていくことを目的とする。</p> <p>このような活動を通して、保育園・幼稚園・小学校段階の子どもを取り巻く「今日の課題」について検討するとともに、子どもへの関わり方、子どもの心身の発達段階における幼児教育・小学校教育の役割について学習する。</p>		
活動内容及び 実績、評価	<p>(活動内容及び実績)</p> <p>汐江ふたば保育園にて、防災に関する絵本の読み聞かせを行う予定であったが、コロナの影響により、学外活動が自粛されていたため、クラブ活動、交流を伴う課外活動は行えなかった。</p> <p>コロナ禍でも子どもたちに楽しんでもらおうと、ペープサートによる「かさじぞう」の Youtube 動画を作成し、地域の大学が連携する大学コンソーシアムひょうご神戸のサイトイベントにて公開した。</p> <p>https://youtu.be/vBiZmkm7Rf8</p>		



2021年3月21日には、大学に隣接した緑遊広場で開催の「一箱古本市＆「アマ」のいろいろな人たち展」に出展し、コロナ対策を取ったうえで、製作遊びを展開することができた。



(評価)

①学生等

保育園・幼稚園・小学校段階の子どもを取り巻く「今日的課題」について検討し、レポートを作成した。そこで学生は「今日的課題」を探り、その結果、地域貢献の一環として地域の保育所や施設で子どもたちに向けた防災活動の強化やコロナ対策を行いながらも楽しめる活動の実施を計画した。今回は、防災の観点からコロナ対策を実施した。

例えば、子ども達にソーシャルディスタンスを取らせるにはどうしたらよいかを検討し、フラフープを置き、座る位置を明確にすることで、子ども達がスペースを空けて座るようになる、密着せずに遊びやすいおもちゃの研究などを提案した。

②市民活動団体の活動者

3月21日(日)大学に隣接した緑遊広場で開催の「一箱古本市＆「アマ」のいろいろな人たち展」に出展した。

今回のイベントで当日は防災絵本を含めた絵本の読み聞かせを行い、フラフープによるソーシャルディスタンスの実験を行う予定だったが、天候が悪く、雨が降っていたため、学生の発案により、紙コップロケットなどの制作遊びに急遽変更になった。

その結果、悪天候の中でも多くの来場者があり、子どもたちも楽しんでいたことから今後も継続的にイベントを開催したいという依頼をいただいた。

③指導教員の視点を踏まえて、次の項目について評価・分析したものを掲載してください。

防災の一環としてコロナ対策を子どもたちにレクチャーしながら制作遊びを展開し、子どもたちにコロナ対策の意識を芽生えさせることができた。

紙芝居サークルどんぐりの会や、読み聞かせグループハートフリーの方々と協働で、防災の絵本の読み聞かせや絵本の自主制作を行う予定だったが、コロナ対策のためクラブ活動が自粛となった期間が長く、学外者や子ども達との交流も難しいことから、学生による防災の絵本の読み聞かせや制作を行うことはできなかった。

活動内容及び
実績、評価

紙芝居サークルどんぐりの会や、読み聞かせグループ ハートフリーとの交流が実質行えなかったことから、今年度に関しては、学生の制作物(YouTube 動画)の確認や活動報告を行うのみであった。

今回、緑遊ひろばのイベントで当日は、絵本の読み聞かせを行う予定だったが、天候が悪く、雨が降っていたため、学生の発案により、紙コップロケットなどの制作遊びに急遽変更することとした。検温や人数制限をしながらの運営には、普段の授業で学んでいることが今回生かされたようで、学習意欲が高まっていた。また、子どもたちと久しぶりに触れ合うことによって、コロナ対策を実際に行うことの難しさを感じつつ、保育の楽しさを改めて感じたようであった。

※ 報告書の内容及び掲載写真は、市報、HP等の市の発行する媒体への掲載される場合がありますので、事前に学生等の同意を得た上で、提出をお願いします